

谷岡学園広報誌 GAKUJIN 2012 04 April Vol.47

世に役立つ人物の養成

学校法人 谷岡学園

- 大阪商業大学
- 大阪商業大学高等学校
- 大阪商業大学堺高等学校
- 大阪商業大学附属幼稚園
- 大阪女子短期大学
- 大阪女子短期大学高等学校
- 神戸芸術工科大学

姉妹法人 学校法人 至学館

- 至学館大学
- 至学館大学短期大学部
- 至学館高等学校
- 至学館大学附属幼稚園

01

[巻頭]
新年度に向けて
理事長挨拶

02

[特集1]
平成24年度 事業計画

11

[特集2]
改革 大阪商業大学
就業力育成支援プロジェクト

13

[年間行事予定]
平成24年度 年間行事予定



学校法人 谷岡学園
TANIGUCHI GAKUEN EDUCATIONAL FOUNDATION

新年度に向けて

学校法人 谷岡学園 理事長

谷岡 一郎



新しい年度がスタートしました。新しく谷岡学園の一員となる教職員の皆さん、新たな環境からのスタートとなります。当然ながら、様々な場面で迷つことがあるでしょう。何かに迷つたときは、ためらわず「やる」方を選んでください。それで失敗しても自分の成長に必ずつながります。

そして、谷岡学園を退職される教職員の皆さん、これまで学園の発展にご尽力いただき、あらためてお札を申しあげます。皆さん、谷岡学園の一員として様々なことを経験されたと思います。それぞれの経験を糧に新たなステージへ向かう皆さんのご活躍を祈念いたします。

昨年、東日本大震災という未曾有の災害を経験しました。あれから1年経ちましたが、被災地の復興は放射能という大きな壁が立ちはだかっており、なかなか前に進むことができませんでした。このよつな状況の中で我々教育者は、これから時代を担う若者に対し、社会に対する責任を果たせる人物を育てる努力を惜しまんではありません。そして我々は、この責任を果たすため、学園全体として、次事業計画を実行します。

法人本部総務部門では、各学校の中長期計画を想定した既存組織の検証、見直しの準備、施設整備計画に向けた情報収集、企画立案及び広報面での支援を推進します。人事部門では、教員の新人事制度の構築に本格的に取り組むとともに、職員の新人事制度の展開についても、永続的な学園の発展に期すべく、継続した業務改革の推進を図るほか、福利厚生制度の充実等に取り組みます。財務部門では、学園全体の収支バランスを考慮した中長期財政計画の策定を推進し、財務システムの効率化・適正化を図るべく財務システムの機能向上等に取り組みます。

監査室では、独立した組織として求められる役割を果たすべく、より質の高い監査を目指すとともに、監事・監査法人との連携の取組みを進めます。また、効果的な公益通報の運用体制の見直しを行います。

大阪商業大学では、「面倒見の良い大学」「就職に強い大学」と評される大學づくりを目指し、事務組織を改編しました。学内組織間の有機的な連携や教職協働の推進により、平成23年度からスタートしている就業力育成支援プロジェクトの充実を図ります。また、地域の生涯学習支援や文化・産業の充実に寄与するため、教育・文化の普及活動等の諸施策を展開し、地域との連携強化を図ります。

神戸芸術工科大学では、学部の充実・発展のための改組拡充計画の立案と併行して既存学部のカリキュラムの充実、教員スタッフの強化、教育課程と密着した施設・設備の整備等に重点的に取り組みます。また、開学25周年事業について、具体的な検討を進めていきます。

大阪女子短期大学では、3学期制・60分授業を開始します。この新教育システムについては、随時検証を行い、変更が必要な事項に関して迅速に対応するとともに、学科専攻コースの編成についても継続的に検討を進めます。

大阪商業大学附属幼稚園では、新入園児の保護者が感じている「教育方針がしつかりしている」「園庭に自然や池があり、子ども達が自然と遊びたくなる環境」「先生達も話しかけるか検討していきます。

大阪女子短期大学では、入学者に占める地元出身者が増加傾向にあり、より一層の地域との連携を大切にしながら、各校の教育課程や施設・設備の計画的な見直しにより、生徒の安定的確保に向けて各高等学校の特色を活かすく幼稚園の雰囲気が良い」という印象をより具現化すべく、広報活動の見直しや通園バスルートの増加、防犯カメラの設置による安全確保等を進め、安定的な入園者の確保に向けて一層の努力を行います。

最後になりましたが、この学園は教職員の皆さんの真摯な努力によって支えられています。様々な取組みの実行には難しいことも多くあるかとは思いますが、教職員がともに支え合い、社会で必要とされる学園を目指して一緒に頑張りましょう。

学園にとって、そして皆さんにとって一層飛躍の年になるよう期待しています。

整備が整いました。今後は、机や椅子、コンピュータ等の教育環境の整備を実施します。また、「ースコンセプトの見直しや再設定系列大学との連携強化のほか、系列大学以外との高大連携の関係作りに取り組みます。

大阪商業大学堺高等学校では、共学校として存在価値のある学校であるべく、勤労教育

を中心とする心の教育を充実させるため、挨拶の励行、マナーの向上、自転車通学生への交際指導等を保護者とも連携して教職員全体で取り組みます。

大阪女子短期大学高等学校では、これまでの取組みによって最大の課題である生徒の確保が徐々に目標に到達しようとしている中、新企画として「魅力ある学校作りプロジェクト」を立ち上げます。より魅力ある学校を作るために、先進的な取組みをしている学校を訪問し、研究・分析を重ね、本校に適用できるか検討していきます。

ピュータ等の教育環境の整備を実施します。また、「ースコンセプトの見直しや再設定系

事業計画

Business plan

法人本部長
常岡 裕之

法人本部長メッセージ



平成24年度も大学・短大・高校・幼稚園に多くの新入生が入学されました。また、学園設置校及び関連グループ会社にも多くの教職員・社員の方が採用され、教育研究活動及び営業活動等がスタートしました。皆様の今後の活躍を期待しています。

学園といたしましては、CS理念に基づき今年度各設置校で実施される事業を積極的に推進するとともに、平成25年度以降予定される各設置校の改組等の事業計画実施に際して、「世に役立つ人物の養成」という建学の理念

を追求し、学生・生徒一人一人が満足できるような学校づくりを目指します。

さらに、学園の社会における存在価値を高めるため、教育課程・組織の見直し、研究体制の充実、教育研究環境充実のための施設設備の整備、多様な人事施策の推進、財務基盤の安定・強化等を図り、今後とも学園の発展に向け積極的に取り組む所存ですので、それぞれの役割をご理解いただき、ご尽力いただきますようよろしくお願いいたします。

法人本部 総務課／人事課／財務課

学園基本領域

本学園は、建学の理念「世に役立つ人物の養成」に基づく教育研究を積極的に推進するため、2大学・1短期大学・3高等学校・1幼稚園を恒常に維持・発展させるべく、毎年度、新たな取組みや改革・改善を行っています。

また、この取組みは、平成22年度下期より、新たにCS（顧客満足度）の観点から捉え、CS理念方針・行動指針を設定し、推進しています。

この新たな取組みや改革・改善の統括的な事業について、法人本部は、平成24年度、次の項目に重点をおいて検討・提案・実施を行います。

- ① 学園組織運営の健全化・適正化・円滑化・効率化の推進「5カ年計画の4年目」
- ② 学園施設の維持管理及び規模の適正化推進「関連会社を含む」「5カ年計画の4年目」
- ③ 学園広報のあり方見直し及び各設置校への広報支援推進「5カ年計画の4年目」
- ④ 教員人事制度の構築「5カ年計画の4年目」
- ⑤ 専任教員人事制度の充実 展開
- ⑥ 特別職員人事制度の体系化
- ⑦ 教職員福利厚生制度の充実
- ⑧ 財政基盤の安定化推進
- ⑨ 財務管理の適正化推進
- ⑩ 電子決裁等による各管理部門業務の効率化推進（新システムの導入・展開）

□ 総務部門

学園全体及び関連グループ会社の健全な経営を視野に入れ、設置校全7校及び3社の今後を見据えた、学園全体の組織運営計画（総務課）、人事計画（人事課）、経営計画（財務課）等が互いにリンクした企画・立案を法人3課による協同作業により推進します。また、戦略的な組織運営を行うことを目標に、平成24年度は

次の業務を重点的に取り組みます。

1. 学園組織運営の健全化・適正化・円滑化・効率化の推進「5カ年計画の4年目」

学園全体の組織運営の健全化・適正化・円滑化・効率化を図るため、次の重点施策を企画・立案し、タイムリーに実施します。

①ワークフローシステム、シンクライアントシステム、グローバルエアシステム等の電子化の推進

②法人本部（3課）、秘書室及び監査室の3部門の役割を再度検証（見直し）したうえでの業務の分担及び明確化を推進

③各設置校の中長期計画（平成25年度以降の構想）から想定される組織運営の改編と既存組織の推進

④法人本部（3課）、秘書室及び監査室の3部門の役割を再度検証（見直し）したうえでの業務の分担及び明確化を推進

⑤各設置校の中長期計画（平成25年度以降の構想）から想定される組織運営の改編と既存組織の推進

⑥各設置校の中長期計画（平成25年度以降の構想）から想定される組織運営の改編と既存組織の推進

⑦各設置校の中長期計画（平成25年度以降の構想）から想定される組織運営の改編と既存組織の推進

⑧各設置校の中長期計画（平成25年度以降の構想）から想定される組織運営の改編と既存組織の推進

⑨各設置校の中長期計画（平成25年度以降の構想）から想定される組織運営の改編と既存組織の推進

⑩各設置校の中長期計画（平成25年度以降の構想）から想定される組織運営の改編と既存組織の推進

□ 人事部門

平成24年度についても、戦略的人事・労務計画の策定と計画的入人事企画の実施を推進することとして、その柱として教員の新人事制度の構築に本格的に取り組みます。平成20年度から設置校毎に定年年令の改正に取り組んでいますが、評価制度の導入企画・賃金制度改定・退職金制度再整備・中長期採用計画などこれまでが、評価制度の導入企画・賃金制度改定・退職金制度再整備・中長期採用計画などを図りながら、5カ年計画の4年目として新たにた諸課題について、大学教員・高校教員とともに、慎重にCSの観点から、構成員の認識理解を図りながら、5カ年計画の4年目として新たな制度構築を進めることとします。

次に、組織活性化と教職員の能力開発の一貫としての職員の新人事制度展開については、学園の永続的な発展を目指し、継続して業務改革の推進を図ることを第一義に取り組み、人事評価制度・能力開発制度をさらに発展開拓させることとともに、賃金制度の適正運用につなげ、各事業を展開します。これに付随し、特別職員人事制度も体系的・効果的に推進し、制度の運用を進め、適正な採用・配置を行ふこととします。

2. 大阪女子短期大学高等学校の空调設備

③収益事業施設の改修（TT-Sセンター及びJ・ミニユーニティホテル）

3. 学園広報のあり方見直し及び各設置校への広報支援推進「5カ年計画の4年目」

各設置校広報の充実発展を鑑み、学園としての広報のあり方を見直し、次のとおり効率かつ効果的な運営を推進し、合わせて認知度向上を図ります。

①学園ホームページのリニューアル

②3高等学校及び大阪商業大学附属幼稚園におけるホームページ等を利用した情報発信

③各設置校に対する広報支援

④集客施設並びに公共交通機関主要駅等への広告掲出

⑤学園設置校に対する広報支援

⑥各設置校に対する広報支援

⑦各設置校に対する広報支援

⑧各設置校に対する広報支援

⑨各設置校に対する広報支援

⑩各設置校に対する広報支援

⑪各設置校に対する広報支援

⑫各設置校に対する広報支援

⑬各設置校に対する広報支援

⑭各設置校に対する広報支援

⑮各設置校に対する広報支援

⑯各設置校に対する広報支援

⑰各設置校に対する広報支援

⑱各設置校に対する広報支援

⑲各設置校に対する広報支援

⑳各設置校に対する広報支援

㉑各設置校に対する広報支援

㉒各設置校に対する広報支援

㉓各設置校に対する広報支援

㉔各設置校に対する広報支援

㉕各設置校に対する広報支援

㉖各設置校に対する広報支援

㉗各設置校に対する広報支援

㉘各設置校に対する広報支援

㉙各設置校に対する広報支援

㉚各設置校に対する広報支援

事業計画

Business plan

法人本部

総務課／人事課／財務課

- ①電子決裁システム導入展開
- ②契約業務効率化推進(非常勤講師・特別職員設他)
- ③福利厚生制度の効率的遂行及び教職員への制度浸透展開
- ④新規企画整備及び運用推進(休暇制度施設)
- ⑤人事管理業務の効率化・合理化推進

さらに、経営安定に向けた人事諸施策においては、CSS活動の展開により、構成員の帰属意識の高揚を目的として、福利厚生制度の充実に継続して努力、健康管理促進(メンタルヘルス対策含む)、セクハラ・バフハラ対策の再整備、各種福利厚生事業の運用促進などをています。また、人事管理においては、近代化を一層進歩し、価値の多様化を見極めた適正かつ効率的な管理体制・システムの展開を進めます。

なお、具体的な事業計画内容については、次のとおりです。

1. 教員新人事制度の構築「5カ年計画の4年目」

- ①定年年令改正
- ②教員評価制度導入企画
- ③賃金制度フレームワーク策定
- ④退職金制度検証
- ⑤中長期採用計画策定

2. 専任教員新人事制度の充実展開

- ①業務改革継続推進
- ②能力開発制度の効果的展開
- ③人事評価制度の適正運用
- ④賃金制度の適正運用

3. 特別職員人事制度の体系化

- ①契約職員人事評価制度の適正運用
- ②特別職員体系再整備
- ③派遣職員及び業務委託契約者の適正採用
- ④配置

4. 教職員福利厚生制度の充実

- ①健康管理促進
- ②セクハラ・バフハラ対策
- ③福利厚生制度の効率的遂行及び教職員への制度浸透展開

5. 人事管理業務の効率化・合理化推進

- ①電子決裁システム導入展開
- ②契約業務効率化推進(非常勤講師・特別職員設他)
- ③福利厚生制度の効率的遂行及び教職員への制度浸透展開
- ④新規企画整備及び運用推進(休暇制度施設)
- ⑤人事管理業務の効率化・合理化推進

③新人事管理制度の適正運用・新規企画導入検討

□ 財務部門

学園の中長期的展望に立った教育環境整備を安定的に進めるため、学生等の満足度を十分に勘案し、教育研究の質の低下や極端な負担増を伴うことなく、財務体質の強化を図り、財政基盤の安定化、財務会計事務の効率化・適正化を計画的に図ることを目標に、次の業務を重点的に行います。

1. 学園財政基盤の安定化を推進

学園財政の安定化を図るため、平成24年度においても収支バランスのとれた中長期財政計画の策定を推進するなどとし、各部門の中期的消費収支計画の策定、中長期施設設備計画、奨学生基盤等の財源確保となる資金収支計画の策定を行い、施設設備整備・奨学基金となる引当特定資産の留保を行つとともに、計画的な基本金(第2号、第3号)組入を進めていきます。また、資金運用においては、安全性、流動性を重視し、効率的な運用を行い、安定した資産運用収入を目指します。さらに、学園事業計画の実現のために中期予算編成方針の構築を進めます。

2. 会計事務の効率化と財務管理の適正化

学園全体の会計事務の効率化を図るために、使用者「一ズを十分考慮し、財務システムにおける支払・予算編成業務の機能向上を進めるとともに、納税事務の電子化を進めます。また、決算事務、高等学校学費徴収事務における効率化、会計事務の体系的整備を図り円滑に推進します。

3. 特別職員人事制度の体系化

①契約職員人事評価制度の適正運用

②特別職員体系再整備

③派遣職員及び業務委託契約者の適正採用

④配置

4. 教職員福利厚生制度の充実

①健康管理促進

②セクハラ・バフハラ対策

③福利厚生制度の効率的遂行及び教職員への制度浸透展開

④新規企画整備及び運用推進(休暇制度施設)

5. 人事管理業務の効率化・合理化推進

①電子決裁システム導入展開

②契約業務効率化推進(非常勤講師・特別職員設他)

③福利厚生制度の効率的遂行及び教職員への制度浸透展開

④新規企画整備及び運用推進(休暇制度施設)

⑤人事管理業務の効率化・合理化推進

平成23年度に設置された監査室は、業務の大きな一本の柱である「内部監査」と「公益通報・相談の窓口」について、3年間の事業計画を策定しました。

監査を具体的に進めるに際しては、監査実施が谷岡学園の発展につながるものであるかどうか、そして、全ての人(部門)に対して、公平・公正であるかどうかを、監査部門として常に意識しながら行動すべきだと考えます。

監査室

③その他、文科省の競争的資金、受託研究費等の公的外部資金の監査を実施し、監査方法、規程内容等含め、見直し・改善の推進を行います。

④監事及び監査法人との連携において、双方が限られた時間、人員の範囲で有効かつ効率的な監査を実施すべく、三様監査における連携体制を強化するとともに、定期的に年5回程度で協議・調整の場を設け、適正な監査を推進します。

⑤理事長の指示による監査を隨時実施します。

⑥理事長の指示による監査を随时実施します。

⑦監事長の指示による監査を随时実施します。

⑧監事長の指示による監査を随时実施します。

⑨監事長の指示による監査を随时実施します。

⑩監事長の指示による監査を随时実施します。

⑪監事長の指示による監査を随时実施します。

⑫監事長の指示による監査を随时実施します。

⑬監事長の指示による監査を随时実施します。

⑭監事長の指示による監査を随时実施します。

⑮監事長の指示による監査を随时実施します。

⑯監事長の指示による監査を随时実施します。

⑰監事長の指示による監査を随时実施します。

⑱監事長の指示による監査を随时実施します。

⑲監事長の指示による監査を随时実施します。

⑳監事長の指示による監査を随时実施します。

㉑監事長の指示による監査を随时実施します。

㉒監事長の指示による監査を随时実施します。

㉓監事長の指示による監査を随时実施します。

㉔監事長の指示による監査を随时実施します。

㉕監事長の指示による監査を随时実施します。



大阪商業大学堺高等学校

谷岡学園グループ 平成24年度

事業計画

Business plan

「夢に向かって」から「心かよわせる」へ

今年度は、建学の理念「世に役立つ人物の養成」の現代的解釈にある4本柱の具体的な人物像を理想（太



す。人はいつも心に理想を描き、夢を持ちそれを頼りに生きていると思います。夢や理想は心の太陽です。

あらゆる生命は太陽に向かい、命を躍動させ、感動と生きる喜びを表現します。今の時代にこそ、「夢に向かって」生きる喜びや感動を呼ぶ教育が必要とされています。そのためには、形のあるものに心をおくのではなく、形のない愛情や思いやりに心をおくるのです。

影響を与えています。未来への展望を悲観的する傾向が広がり、閉塞状態があることに変わりはないよつに思います。

国内にあつては東日本大震災や津波による福島原発事故など、未曾有の大災害が發生し、政治と経済の混乱はご承知の通りです。また、少子高齢化などの社会状況を考慮すると、私学を取り巻く環境はますます厳しい情勢にあります。このようなときこそ、私学として、将来展望を開き、社会の要請に応えることのできる教育を実践しなければならないと思います。

平成24年の年明けから例年ない厳しい寒波に見舞われ、豪雪被害など大変な年の始めとなりました。世界的にも、異常気象をはじめ、政治、経済の混乱は続き、様々な影響を与えています。未来への展望を悲観する傾向が広がり、閉塞状態があることに変わりはないよう思います。



終わりに、平成24年度入試状況のご報告をさせていただきます。受験者総数は1,830名となり、本校はじまつて以来の応募数となりました。これもひとえに学園本部のご支援と、本校教職員の皆様方のたゆまない、ご努力とご協力の賜であると心から感謝いたしております。

は創意工夫しながら特進コースの特別編成授業やセンター対策補習等を継続実践します。さらに、個々に合わせたきめ細かな進路指導を行い、進路目標を実現できる学校となるよう努力していきたいと思います。

そして、本校が高等学校として価値ある学校として、地域社会から信頼を得、地域から求められ、地域を支える学校となつて、生徒の夢や理想をかなえられるよう具体策を検討し、実践していくたいと考えています。また、各コースの目標を達成するため、今年度

陽) とし、本校独自の勤労教育を中心、あらゆる教育活動を通して形のない物事の本質を知り、「心かよわせる」教育実践に望みたいたいと思います。物事の本質を知るとは夢や理想と自然の恵みのような愛情、思いやり

＜遊びは学び＞ あれもしたい、これもしたい 幼稚園！

57年の歩みをもつ大阪商業大学附属幼稚園の子ども達はいつも明るく元気いっぱい、笑顔で登園してきます。

す。遊びや生活の中で、子どもの興味や関心から「不思議だなあ」「こうすればいいかなあ」「やってみよっ」など仲間と考え方ったり、目的に向かって成功のため工夫したり、失敗をおそれずチャレンジしたり、自分の頭で考えて様々な活動を開いていく子ども達を支えていきたいと思います。

平成24年度は園児数157名となります。子ども達の期待はもちろん、保護者との連携を大切に信頼関係を築き、全教職員が襟を正し幼児教育の原点をさらに追求していきたいと思いま

大阪商業大学附属幼稚園



でいる円筒をすくい上げようとしていました。「ちょっと持つて！そうつとなあ」助けを求めるながらも…見せたくてたまらない気持ちが伝わってくるのです。何か見つけただけでなく、不思議なものを見た様子でした。そつと覗くと、白く光ついて半透明で、筒の中でピタツとくつついているのです。池の生き物の誕生を見たのです。「なあ、見えたやろ！」と言つて得意げに「前より大きくなつていたわー！タニシの赤ちゃんやで」と教えてくれました。ザリガニつりやキンギョすくいなどが好きな仲間と共に発見し、日頃から観察をしていた事を大人に伝え満足げでした。本当にタニシなのかクラスで話題になり本で調べたり、タニシである事を待ち望んだり、池とのかかわりの日々が続いていたのです。(正解はともかく)

このように興味を持ち、おもしろさを感じその事に夢中になり仲間と取り組み、見通しを持ち周囲に伝えたりすることができるることは、まさに学びの芽生えであり小学校につながる力だと思います。

遊びや生活中で、子どもの興味や関心から「不思議だなあ」「こうすればいいかなあ」「やつてみよう」など仲間と考え方あつたり、目的に向かって成功のため工夫したり、失敗をおそれずチャレンジしたり、自分の頭で考えて様々な活動を開いていく子ども達を支えていきたいと思います。

平成24年度は園児数157名となります。子ども達の期待はもちろん、保護者との連携を大切に信頼関係を築き、全教職員が襟を正し幼児教育の原点をさらに追求していきたいと思いま

「新・芸術工学」の確立をめざした 2012神戸芸術工科大学の改革

神戸芸術工科大学

キャンパス空間の更なる充実のため、デザイン

キャンパス環境の質の向上

大学院については、専門教育プログラムにおける教育内容の充実など、更なる質の向上を行っています。

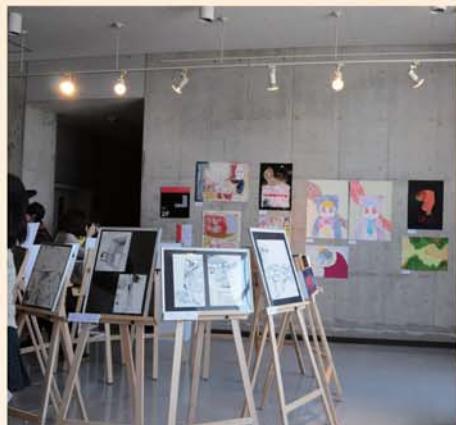
推進します。

地域社会に開かれた大学

入学前教育並びに初年次教育の充実と教育課程の再構築を基礎に、学部に求められる基礎教育科目と専門科目のカリキュラムの有機的連携を図るとともに、時間割と施設における有効利用の見直しを行います。

また、学科・コースの教育目標と特色を明確にし、教員スタッフの充実、更には教員の教育活動の活性化を目指したFD活動を

実現する世界44カ国176大学が参加するクムルス、ユネスコ・デザイン都市、IAUPに参画する大学と積極的に連携し、「教育・研究テーマの創出」、「大学連携共同プログラムの開発」、「教員の派遣と受け入れ」、「学生交流」など、本学の特色を活かせるような国際連携や国際貢献を実質化します。



教育内容の質の向上

「新・芸術工学」を「人間とその歴史」を基盤に、グローバルな情報環境の中で、「デザイン」と「アート」の教育研究活動を通して、「芸術文化」と「科学技術」を融合・一体化する学問と位置づけ、世界の基準で評価されるトップクラスのデザイン・芸術系大学を目指します。

国際交流の活性化

アジアンデザイン研究所は、学問としての「アジアンデザイン学」を推進するとともに、アジアの協定大学、クムルス加盟大学、地域社会と連携し、専門領域を超えた研究交流を開拓していきます。

「新・芸術工学」



芸術工学研究所は、基幹テーマとしての「サステナブルデザイン」を推進します。また、芸術工学研究所主催の企画や研究発表会を、HPを活用し恒常的に社会に配信するなど、研究戦略と組織的な研究支援体制を構築します。

研究所の活性化

ン系ラボ、アート系ラボ及び大学院ラボの一体化運用を目指したラボラトリの教育環境整備、更には開学25周年を見据え、図書館の増改築並びに学生会館建設の基本計画の策定と実施計画の準備を進めます。

大阪女子短期大学

「進むべき方向性を整える。」～教育改革元年～

二つには、本学が歩んできた原点を今一度振り返り、進むべき方向性を整理する時期にあると認識します。昨今の社会情勢や社会構造に合致した短期大学としての使命や目的を再構築することで、世の中に必要とされる短期大学とは何か、その存在価値を確立させたい。今期は、この機軸の事業に加えて、次の事業を取り組みます。

安全で美しいキャンパス整備について

②防災対応マニフェスト
③CS理念の徹底

その他

今一度振り返り、進むべき方向性を整える時期にあると認識します。昨今の社会情勢や社会構造に合致した短期大学としての使命や目的を再構築することで、世の中に必要とされる短期大学とは何か、その存在価値を確立させた

今期も厳しい就職戦線が続くと認識しますが、2名のキャリアアカウンセラーを含め、5名のスタッフに企業担当者を加えた体制で就職支援を展開します。今期は企業関係者ができる限り学内に招き、就職意識の高揚を図ることで、就職活動の早期化へつなげたいと考えます。

就職支援について

平成24年度は、本学にとって大変重要な年度であります。一つは、学生の教育力向上を目指す「3学期制」「60分授業」の教育システムをスタートさせた年度であり、「教育改革元年」と宣言されます。大学生の学力不足が指摘されています。既に相当の年数を経ましたが、その対応策として、本学は新たな教育展開にチャレンジします。その実施と併行して

して、次の取組みを行います。

- ①学生ポータルサイトの構築・運用開始
- ②「思いやりプログラム体験研修」の継続実施
- ③課外活動の活性化支援
- ④各種学内外イベントの実施
- ⑤その他、2年間の学修に加え、資格取得の支援、就職支援等の見地から、さらに1カ年就学を延長できる制度等の検討を行いま

学生支援について

本学の最重要課題は、平成24年度も学生募集であり、広報入試部門を事務棟に移設し、募集対策室としての機能充実を図ります。今期の定員充足率（全学）は83%ですが、広報戦略の見直しを行い、定員の充足を図ります。

学生募集活動について

子育て支援活動等を通して、本学を活動拠点や情報交歓の場として、多くの方々が集つキャンバスとなりました。今期も地域のホットステーションとして、美しいキャンバス維持のため、緑化整備や森の小路改修事業等を開拓します。また、建物維持、安全対策や経費の平準化のため、中長期改修計画の練り直しを行います。

魅力ある学校作りプロジェクト

大阪女子短期大学高等学校

この成果は、全国校長研修会でも報告され、機会を得て、大阪女子短大高校に学ぼうと、日本各地の高校から訪問や問い合わせを受けました。

上の多彩な進路結果を実現します。また、短大との連携事業も本格化します。協議を進めながら、より良いものにしていきます。

地味な努力ではあります、この取組みを通して生徒たちは落ち着いた努力をして、その結果、本校を一番身近に見ていく近隣中学校からの受験者が大幅に増えています。また、これまで受験の無かった中学校からも受験していくだけるようになりました。本校がより良い変革を遂げました。

本校に足りないものを見極めたうえで、それを実践している学校に学びます。学んだことを持ち帰り、自分たちのものとして実践することで、より質の高い教育を生徒たちに提供します。他の学校を訪問することは、課題を学ぶだけでなく、教育者としての視野も広がると思われます。

の伸長と規範意識の涵養です。建学の理念である「基礎学力」と同義の、常に直感を求める高い知性を身につけること、「思いやりと礼節」、あるいは「柔軟な思考力」に通じる、感性豊かな潤いのある情操を育てること。人を思いやり、人に恩をうながす精神を育てることです。これに加えて、命を生み育む性として、生命のナ

た。何が足りなかつたのかを早急に分析し、答えを出し、次年度に備えなければなりません。早速、学内で募集活動の総括を行つて いるところです。

が協力して「教育の原点を追求する」取り組みを実践してきました。本校が考える女子教育の原点とは、生徒一人一人の学習

こうした流れの中で、昨年来的募集活動では、多数の中学生と保護者に参加していただき、大盛況でした。ところが出席者数は、予想を下回る結果になりました。

A classroom scene showing students in brown blazers working at their desks while a teacher in a blue top stands near them.

A photograph showing two students in school uniforms (light-colored shirts and plaid skirts) practicing large brush calligraphy on a long horizontal scroll. The student on the left is in the middle of writing, while the student on the right stands behind her, holding a small rectangular container, likely containing ink. They are working in a classroom setting with windows and shelves in the background.

教職員、学生の皆様に 喜んでいただけるサービスを目指して

(株)ティジー・テック



至学館大学・至学館大学短期大学部との取引きの拡大です。今まで保険関係だけは、至学館大学と取引きがありました。昨年度、至学館高等学校にも呼びかけて個人保険の相談会を開催いたしました。お陰様で一定の反響もあり、今後も継続していく所存です。

最近の就職状況を鑑みて就職熱も高まり、これまでには、学生が就職用の履歴書に貼付する写真を各自で準備し、貼り付けていました。これを踏まえて就職用の履歴書用写真を安価に提供できるよう、学内での撮影会を本年秋から開催いたします。

1. 至学館大学・至学館大学短期大学部における就職用の写真撮影会の開催

弊社の事業は、教職員・学生が対象になっていることから備品、文具・消耗品、印刷、自動販売機の管理、清掃、旅行、喫茶の運営、保険、ケータリング、制服指定物品販売など多岐にわたっております。

これらの業務から平成24年度は左記の2項目に力を入れて取り組みます。

（株）ティジー・テック

2. 大阪商業大学・神戸芸術工科大学・大阪女子短期大学・至学館大学における学生サービスの強化

弊社では、「ニッセン」「洋服の青山」「ジョイフル恵利」と提携し、学園関係者の皆様へ、より良いサービスの提供ができるように取り組んでおります。

通販大手のニッセンとの提携では、3千円以上を購入いただくと、5百円の割引を毎月受けすることができます。

洋服の青山では、利用の際に「青山アカデミーカード（提携会員カード）」を発行させていただくことで、店頭価格より1割～2割の割引きを受けることができます。

ジョイフル恵利では、弊社発行の紹介状を持参のうえ振袖をレンタルしていただければ、振袖代金から5パーセントを割り引くサービスを実施しております。さらにレンタル成約時には、マックカード5百円分をプレゼントしております。

以上のサービスは、教職員の皆様もご利用いただけます。詳しくは当社ホームページ <http://tg-tech.jp> にある「学生割引特典のお知らせ」をご覧ください。



「真心を込めた接客をするホテル」を目指して

U・コミュニティホテル



至学館大学・至学館大学短期大学部との取引きの拡大です。今まで保険関係だけは、至学館大学と取引きがありました。昨年度、至学館高等学校にも呼びかけて個人保険の相談会を開催いたしました。お陰様で一定の反響もあり、今後も継続していく所存です。

最近の就職状況を鑑みて就職熱も高まり、これまでには、学生が就職用の履歴書に貼付する写真を各自で準備し、貼り付けていました。これを踏まえて就職用の履歴書用写真を安価に提供できるよう、学内での撮影会を本年秋から開催いたします。

1. 至学館大学・至学館大学短期大学部における就職用の写真撮影会の開催

弊社の事業は、教職員・学生が対象になっていることから備品、文具・消耗品、印刷、自動販売機の管理、清掃、旅行、喫茶の運営、保険、ケータリング、制服指定物品販売など多岐にわたっております。

これらの業務から平成24年度は左記の2項目に力を入れて取り組みます。

（株）ティジー・テック



谷岡学園の皆様には倍旧のご支援を賜りますよう、お願ひ申しあげます。

最後になりましたが、学園のグリ

ブ会社として、弊社が教職員皆様の福利厚生施設である事は元より、各設置校様の受験やオープンキャンパス時での宿泊支援等に加え、民間企業としてサポート出来る取組みを考えて参ります。

今年度も厳しい状況が続きますが、谷岡学園の皆様には倍旧のご支援を賜りますよう、お願ひ申しあげます。

事業計画

Business plan

(株)神戸デザインクリエイティブ

当社は、神戸芸工大のエクステンションとして、「デザイン都市・神戸」プロモーションの一翼を担い、人材育成、雇用創出及び地域活性化を推進します。

具体的活動内容

1.企画・運営・コンサルティング事業

①「デザインクリエイティブセンター神戸」を拠点に、アニメーターの育成並びに関西定着を図るためにスキルアップ講座等を有償で行い、加えて国内外の教育機関等にアニメ制作過程を公開し、アニメーション制作の需要拡大を図り、「神戸」アニメーションプロジェクト」計画を推進します。

②神戸芸工大卒業生を中心としたアニメーション制作事業部「アニメタス神戸・第2スタジオ」開設計画を立案します。

③平清盛関連事業を昨年度同様推進し、収益増及びスタジオの認知度を高めます。

④行政助成事業を活用し、地域活性化に携わることで認知度を高め、収益につなげます。

⑤体験実習イベントの開催等、神戸芸工大の広報活動にも積極的に参画します。

⑥老人ホーム等事業刷新の可能性のある業界へのコンサルティング事業を展開します。

⑦行政の要請によりビジネスマッチングイベント等へ参加し、認知度を高めます。

2.デザイン・アート・メディアの教育事業

①アニメーターJOINT関西を開き、就業体験事業として更なる事業推進を行います。

②昨年度同様、神戸芸工大在学生のデジタルカラー・仕上職へのインナーシップを受け入れ、加えて今年度より作画・動画職への受け入れも開始します。

3.社会連携・受託事業

①兵庫県下各市役所等、産官学社会連携事業のニーズを收集し、受注促進を図ります。

②受託事業のニーズを調査し、受注促進を図ります。

4.地域貢献・国際貢献事業

①地域商店街活性化促進事業を継続的に実施し、収益事業と連動させます。

②長田区で活動中のアニメ文化推進事業を、兵庫県下(中央区など)へ展開していきます。

③地域イベントを通じて外国人観光客の誘致に努めます。

5.同窓会・卒業生支援事業

①神戸芸工大と連携して卒業生の活動状況を集約し、受注品の制作における連携を図ります。

②卒業生等の作品のネット販売企画を促進し、収益事業と連動させます。

6.制作・販売事業

①アニメーション制作請負の受注を促進し、加えて業務処理方法を見直します。

②行政・企業からのPRアニメーション受注促進のための営業活動を行います。

③学園設置校の学生・生徒等の作品の商品化並びに販促計画を立案します。平成24年度は神戸芸工大を中心進めます。

④オリジナル商品の販売ルートを開拓します。

7.出版・IT情報発信事業

①出版業界への参入を視野に業界調査を行います。

②「デザインクリエイティブセンター神戸」で行う事業を通して、情報を発信します。

③印刷事業の促進を図ります。

8.コンペ・コンクール事業

①アニメーション神戸との連携を行い、アニメタス神戸の認知度をさらに高めます。

②学園設置校のコンペ・コンクール企画を支援します。



「気づき」の支援と「自己開発能力」の育成

全教職員が一体となって・

大阪商業大学では、平成23年度から新たな取組みとして「就業力育成支援プロジェクト」が進められています。

昨今、進学率の上昇にともない、大学に入学してくる学生の資質が変わってきたことは、教育現場に身を置く私たち教職員が、最も強く感じている事実でしょう。

基礎学力や学習意欲の低い学生、目標が無くなんなく過ごしてしまう学生、自分に自信が持てず何事もあきらめてしまう学生…。

多様化する学生一人ひとりが、学ぶことの意義や意味に気づき、自ら成長する喜びを知り、

自信を持って社会で力強く生きていってほしい。

就業力育成支援プロジェクトは、大阪商業大学教職員のそんな想いが詰まった取組みです。

4月に行われた事務組織の改編を受け、更なる広がりを見せる就業力育成支援の取組みを紹介します。

就業力育成支援の全体像

入学前から卒業までの期間、
教職員が一体となり、段階的に支援することができるプログラムを目指して

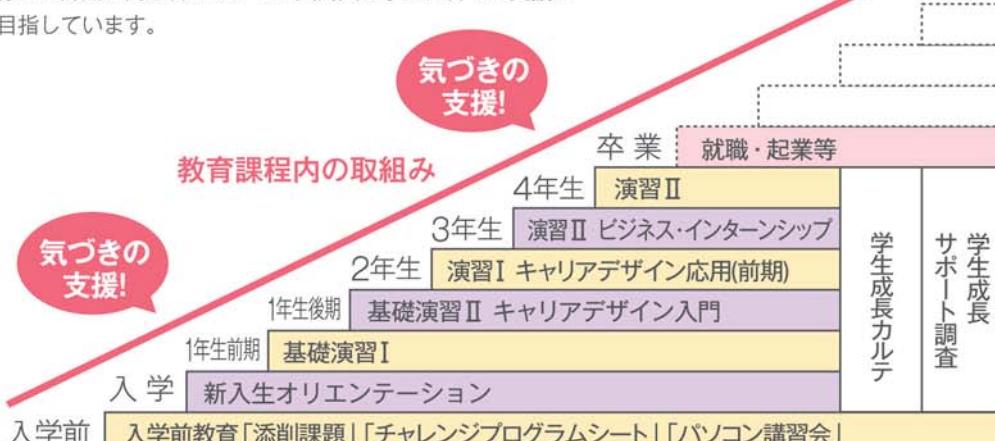
就業力育成支援プロジェクトは、昨年度スタートしたばかり。
様々な課題と向き合いながら、大商大の学生に合った支援を
目指しています。

建学の理念
世に役立つ人物の養成
夢・目標

教育課程外の
取組み

就業力の更なる向上を
支援する取組み

学修支援センターによるサポート
による就職力向上支援
学修支援センターによるサポート



事務組織の改編

学生目線による就業力育成支援の実現を目指して、事務組織を改編！

学生を育てるには教育課程内の教育だけでは不十分であり、教育課程外の教育も非常に重要となっています。そのためには、職員の力が大切であり、職員は課室の垣根を越えて学生の成長を支援することが求められます。このような考え方のもと、大学組織間の有機的な連携を図り、体系统的な学生支援を目指し、事務組織の改編が行われました。

11課室

- ・教務課
- ・学生課
- ・スポーツセンター事務室
- ・キャリアサポート室
- ・広報入試課
- ・情報推進課
- ・学事課
- ・図書館事務室
- ・学術研究事務室
- ・アミューズメント産業研究所事務室
- ・リエゾンセンター事務室

10課室

- ・事務局長室
- ・教務課
- ・学修支援課
- ・学生生活課
- ・キャリアサポート室
- ・広報入試課
- ・庶務課
- ・図書館事務室
- ・学術研究事務室
- ・社会連携・研究支援課

PICK UP!

学修支援課

これまで教務課所管だった、学修支援センターに係る業務を取り扱う部署として、学修支援課が誕生しました。就業力育成支援や教育活動支援など、学修支援に係る業務全般を担当します。学生相談の総合窓口となり、ワンストップサービスで応える組織を目指します。

※ワンストップサービスとは…1カ所で必要な手続きを全て済ませることができるようになるサービス。

1 就業力育成支援プロジェクトとは

学生が自ら進んで自己の成長に努め、社会にて意欲的に活動できる能力を高める。これを全教職員が支援する全学的な取組みである。

就業力育成の目的

- ★生活習慣や学習習慣の形成
- ★建学の理念を基礎とした就業観・職業観の形成
- ★自らの個性の発見・個性を活かす職業選択
- ★自ら不足している能力に気づき、その能力開発のための努力を自らの意志で実行できる「自己開発能力」の育成
- ★キャリアアンカー・や明確な人生目標の設定
- ※キャリアアンカーとは、働くうえで最も大切なもの（もたらす価値や欲求のこと）。

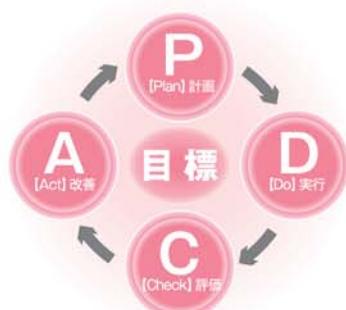
2 就業力育成を支える仕組み

学生それぞれの個性にあつた支援や、学生が自らの成長過程を振り返ることが可能な仕組みを構築。

学生成長カルテ

「学生成長カルテ」は、ポータルサイト「S.Navi」内に設置され、学生は4年間を通じて、自身が立てた目標と目標達成状況の自己評価を記述していく。自らの成長の過程を振り返り、新たな目標を設定することで、「自己開発能力」を身につける。また、「学生成長カルテ」には、科目の履修状況や単位取得状況、科目別の出席状況などの情報も蓄積されるため、教職員はその情報をもとに、学生の個性に合ったアドバイスを行うことができ、きめ細かな支援が可能となる。

学生成長カルテを用いて、PDCAサイクルをまわす。



③ 基礎演習Ⅰ（1年次前期）

大学で学ぶことの意義を知り、大学で学んでいくための基礎的な学習方法や生活習慣・学習習慣の形成を目的とする。「学生成長カルテ」に取り組むことを重要な課題として実施し、「学生成長サポート調査」のフォローアイテムも行う。

④ 基礎演習Ⅱ（1年次後期）

就業力の基礎である「コミュニケーション能力」「プレゼンテーション能力」「文章作成能力」を育成する中で、将来の進路を見据えた学修の必要性に気づかせる。また、「学生成長カルテ」「学生成長サポート調査」への取組みを継続的に進め、2年次以降の履修計画の策定などに取り組む。

⑤ 演習Ⅰ（2年次）・演習Ⅱ（3～4年次）

大学での学修が、社会においてどのように活用されるのかを意識させることを目標に、演習Ⅰでは、自ら学習する方法及び研究手法を学び、演習Ⅱでは専門領域の調査研究を進めること。

⑥ キャリアデザイン入門（1年次後期）

「働くことの意味」を根本から考えて、受講者が自身が自らの「勤労観・職業観」を形成し、社会で求められる高い倫理感を身につける。

⑦ キャリアデザイン応用（2年次前期）

建学の理念、大学の使命・目的を支える4つの柱を深く理解し、自分自身のキャリアアンカーを見つけ出し、キャリアプランを設定する。

うに履修支援を行う。また、国語、英語、数学の「フレイスメントテスト」を実施し、その結果によっては、学修支援センターが行うサポート学習講座の受講をすすめ、基礎学力の向上を目指す。1泊2日の学外研修で位置づけ、早期の「友人づくり」や大学生の不安を解消することを目標とする。

2 教育課程外における就業力育成

キャリアサポート室による就職力向上支援

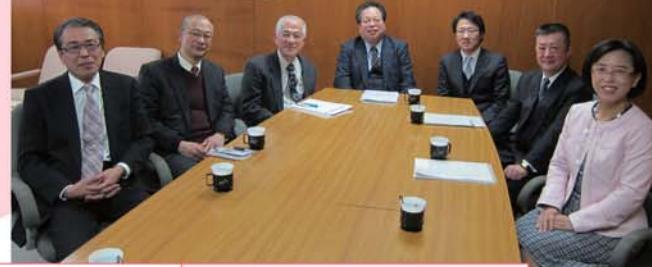
- 合同企業セミナー
- 求人情報提供システム
- 個別就職面談
- 適性診断テスト及びフォローガイダンス
- 各種就職ガイダンス・セミナー
- ビジネス・インターンシップ及び企業見学会

- 学修支援センターによるサポート
- サポート学習講座
- 「簿記」「英語」「ライティング（文章作成能力）」「生活数学」について、授業だけでは不安のある学生の学習をサポートし、就業力の基礎となる学力の向上を目指す。

- 楽習アワー「学習よろず相談」
- 基礎演習の授業のフォローや「学生成長カルテ」の取組み支援、自主学習の支援など、学習に関する相談全般に応じる。

就業力育成支援プロジェクト メッセージ

就業力育成支援のあり方を、それぞれの角度から検討する委員会の先生方から、この取組みへの想いや、ともに支援を進める教職員の皆さんへのメッセージをいただきました。



就業力育成支援プロジェクト			
初年次教育委員会 初年次教育の在り方を検討する。 就業力測定委員会 就業力の能力の変化などを、計量的な側面から測定し改善をすすめる。	学習サポート委員会 キャリアデザイン入門・応用のカリキュラム、教育課程外の支援である学習サポート講座や学習アワーについて検討する。 就業力推進委員会 就業力育成支援全体の仕組みについて検証し改善をすすめる。	副学長 片山隆男 教授 就業力育成支援は、学生たちの「気づき」のきっかけづくりを、教員と職員が一緒になって考える、教職協働の取組みです。学生に対して行う調査のデータから、今の社会や学生たちの状況を、私たち教職員は気づかなくてなりません。そして、学生たちが豊かに社会生活を送ることのできる基盤を作ることが、私たちの役割なのです。ただ、このプロジェクトはまだ始まったばかりです。教職員で意見を交わし合いながら、本学の学生に合った支援の形を、現在進行形で作っていきましょう。	副学長 総合経営学部長 南方建明 教授 私は今まで、就業力育成の方向性とは逆に、1を聞かれたらいで10を教えてしまうような教員でした。この取組みを通じて、教えることよりも学生自身に気づかせることのほうが大切なことに気がつくされ成長することができました。この取組みにおいて、教職員の皆さんには多くのお力添えをいただき、心より感謝申し上げます。
副学長 総合経営学部長 南方建明 教授 『初年次教育委員会委員長』 経済学科 伊東眞一 教授	副学長 片山隆男 教授 『就業力測定委員会委員長』 経済学科 伊東眞一 教授	副学長 片山隆男 教授 『就業力推進委員会委員長』 経済学科 高橋美貴 教授	副学長 片山隆男 教授 『学習サポート委員会委員長』 公共経営学科 長妻三佐雄 教授
副学長 総合経営学部長 南方建明 教授 『基礎演習』グループワーク担当 経済学科 橋本信子 講師	副学長 総合経営学部長 南方建明 教授 『就業力測定委員会委員長』 公共経営学科 桐永佳甫 教授	副学長 総合経営学部長 南方建明 教授 『就業力推進委員会委員長』 経済学科 高橋美貴 教授	副学長 総合経営学部長 南方建明 教授 『学習サポート委員会委員長』 公共経営学科 長妻三佐雄 教授

就業力育成支援プロジェクト インタビュー



就業力育成支援プロジェクト 委員長
副学長 総合経営学部長 南方建明 教授

◆ 学生全体の底上げを図る

これまで大阪商業大学では、将来の目標を明確に持った学生の成長を支援するプログラムは多数用意してきました。しかしながら実際は、目標を見つけることができず、なんとなく過ごして卒業してしまう学生や、大学になじめず退学する学生もみられます。そのような学生層の支援を全学的に行い、学生全体の底上げを図ろうと平成23年度から新たに始まったのが、就業力育成支援プロジェクトです。

就業力とは、就職試験のためのテクニックを磨くことではありません。「ミュニケーション能力やチームで仕事をしていく力、新しいことを考える企画力など、社会で求められる能力をしっかりと身につけてもらつことが目標です。

ただ必要な単位を揃えて卒業できればよしとするのではなく、できれば早い時期に、将来の目標を立て、その目標に向けて、意欲的にかつ計画的に学生生活を送ってほしいと願っています。

◆ 「気づき」の支援と「自己開発能力」の育成

就業力育成支援の重要な目標は、学生が自らの個性や長所に「気づく」とことの支援と、気づいた自分の個性や長所の開発を、自ら実行することができる「自己開発能力」の育成です。

勤労観などの価値観、「人間力」や「自己開発能力」は教え込んで身につくものではありません。人間は、教えられたことではなく、自分で気づいたことこそ、自らの糧としていくことができるのです。ですから、学生自身が自らの個性や強み・弱みに気づき、自らを高めようと努力を通して、自身の成長を実感し、自信を持って社会に出られるよう支援していきたいと考えています。

◆ 教職協働の取組みとして

学生を育てるのは、教育課程内の教育だけでは不十分です。特に今の学生たちの資質を考えると、教育課程外の教育も非常に重要な役割を担っています。「学工力」と同等に「人間力」を育てるためには、全教職員が学生の成長を支援するという共通の目標に向けて行動することが求められています。そのためには、教員と職員が協働し、また職員は、課室の垣根を越えて学生の成長を支援しなければなりません。

その点本学は、学長が日頃から口にされていますが、教員と職員の仲が良いことが大きな強みです。その強みを活かして、教職員が体となって学生のために働くことができるば、より良い取組みになっていくはずです。何より、学生の成長とともに、我々教職員も成長していくことができるでしょう。

就業力育成支援プロジェクトは、まだ始まつたばかりですが、「学生成長カルテ」や「学生成長サポート調査」での意見を見ると、確実に学生の成長につながっていると実感しています。学生の成長を間近に見られることが、教員にとって何よりの喜びなのだと、この取組みを通じて改めて教えてもらつたような気がします。

教職員の皆さんには、この取組みにおいて多大な尽力をいただき深く感謝しています。まだ発展途上の取組みですから、全教職員で共に試行錯誤を重ねて進めていきましょう。

各設置校 主な年間行事予定

4月

- 3日(火) (商)入学式
4日(水) (短)入学式
5日(木) (芸)入学式
6日(金) (商)新入生宿泊オリエンテーション[~7日]
(商高)入学式／(短)思いやりプログラム体験研修[~7日]
7日(土) (堺高&短高)入学式／(商高)1年宿泊オリエンテーション[~9日]
9日(月) (芸)いぶき祭／(商)授業開始／(短)春学期授業開始
(商高&堺高&短高)始業式
10日(火) (幼)入園式・始業式
11日(水) (芸)授業開始
15日(日) (堺高)1年校外オリエンテーション[~17日]
(短高)1年コミュニケーションキャンプ[~17日]
18日(水) (堺高)校外学習／(幼)子育てサロン
21日(土) (芸)オープンキャンパス
27日(金) (幼)親子遠足[年中・年少]
29日(日) 昭和の日 (商)フリーマーケット

5月

- 2日(水) (短高)3年校外学習
6日(日) (芸)デッサン教室
11日(金) (幼)親子遠足[年長]
12日(土) (商)女子オープンキャンパス
16日(水) (幼)設置校連携園外保育[年長]
19日(土) (幼)園庭開放
21日(月) (幼)短大来園実習
22日(火) (幼)枚岡公園遠足[年長・年中]
23日(水) (幼)子育てサロン
28日(月) (商高)校内大会／(幼)短大来園実習
31日(木) (芸)独自入試説明会[難波]

6月

- 1日(金) (芸)独自入試説明会[梅田]／(堺高)体育祭／(幼)人形劇鑑賞
3日(日) (短)オープンキャンパス
5日(火) (幼)法觀寺訪問[年長]
8日(金) (芸)独自入試説明会[岡山]／(商高)校外学習
9日(土) (幼)園庭開放
13日(水) (商)成績優秀者褒賞式／(堺高)芸術鑑賞
14日(木) (短)独自説明会／(商高)団体鑑賞
15日(金) (芸)独自入試説明会[本学]／(短高)弁論・コーラス大会
16日(土) (芸)オープンキャンパス／(幼)親子ふれあいデー
17日(日) (芸)オープンキャンパス
21日(木) (幼)プラネタリウム[年中]
24日(日) (短)オープンキャンパス
26日(火) (短)独自説明会
27日(水) (幼)絵本講演会

7月

- 7日(土) (短)春学期授業終了
9日(月) (短)秋学期授業開始
14日(土) (幼)夕涼み会
15日(日) (短)オープンキャンパス
16日(月) 海の日 (商&短)通常授業／(芸)通常授業・KDULIVE・デッサン教室
17日(火) (幼)学期終業式
20日(金) (堺高&短高)終業式
22日(日) (商)オープンキャンパス
25日(水) (商高)終業式
29日(日) (芸&短)オープンキャンパス

8月

- 4日(土) (商)前期終了／(芸)夏期親子教室
5日(日) (商&芸&短)オープンキャンパス
6日(月) (商&短)夏期休業
10日(金) (商)オープンキャンパス
11日(土) (短)オープンキャンパス／(商高&堺高&短高)私学展
12日(日) (商高&堺高&短高)私学展
13日(月) (芸)夏期休業
19日(日) (商&芸&短)オープンキャンパス
24日(金) (芸)夏期職員研修会／(堺高)教員研修会
25日(土) (商高)オープンスクール
26日(日) (短&短高)オープンキャンパス
27日(月) (商高)夏期教員研修会
30日(木) (短高)始業式

9月

- 1日(土) (商高&堺高)始業式
3日(月) (幼)学期始業
8日(土) (幼)募集説明会
9日(日) (商)オープンキャンパス
12日(水) (幼)敬老のつどい
15日(土) (堺高)オープンスクール／(短高)緑涼祭
16日(日) (短)オープンキャンパス／(短高)緑涼祭
18日(火) (短高)体育祭
19日(水) (芸)前期学位記授与式／(幼)募集説明会
20日(木) (商)前期学位記授与式／(芸)後期授業開始
21日(金) (商)後期授業開始／(短高)芸術鑑賞
22日(土) 秋分の日 (芸)通常授業
23日(日) (堺高)文化祭
24日(月) (堺高)文化祭
27日(木) (商高)体育祭

10月

- 3日(水) (幼)入園手続き
6日(土) (堺高)オープンスクール／(幼)運動会
7日(日) (芸)芸工祭・オープンキャンパス
8日(月) 体育の日 (商)通常授業／(芸)芸工祭・オープンキャンパス
9日(火) (短高)塾対象説明会
10日(水) (商)学長褒賞式／(短高)塾対象説明会
15日(月) (堺高)修学旅行[~20日]
16日(火) (幼)どんぐりひろい
20日(土) (商高)オープンスクール／(短高)オープンキャンパス
21日(日) (芸)デッサン教室
26日(金) (商)大学祭[~28日]
27日(土) (商高)文化祭／(短高)オープンキャンパス／(幼)ファミリー登山
29日(月) (短)冬学期授業開始

11月

- 8日(木) (幼)一泊保育[年長] [~9日]
10日(土) (芸)芸球祭／(商高&堺高&短高)入試説明会
13日(火) (幼)みかん狩り[年中]
17日(土) (堺高)収穫感謝祭／(幼)商幼祭
20日(火) (幼)ありがとう訪問
22日(木) (短高)1・2年校外学習
23日(金) 勤労感謝の日 (商&短)通常授業
24日(土) (商高&堺高&短高)入試説明会
27日(火) (幼)ミニコンサート
28日(水) (幼)子育てサロン

12月

- 1日(土) (堺高&短高)入試説明会
8日(土) (芸)冬期職員研修会／(商高&堺高&短高)入試説明会
12日(水) (幼)クリスマス会
15日(土) (短高)入試説明会
18日(火) (幼)新入・年少クリスマス会
19日(水) (短高)終業式
20日(木) (堺高)終業式／(短高)研修／(幼)もちつき大会
21日(金) (幼)学期終業
22日(土) (商高)終業式
24日(月) 休日 (芸)通常授業
25日(火) (商&芸&短&幼)冬期休業



1月

- 5日(土) (芸)授業開始
7日(月) (商)授業開始／(商高)始業式
8日(火) (堺高)始業式／(短高)始業式
9日(水) (幼)学期始業
11日(金) (幼)親子観劇
16日(水) (商)学長褒賞式
25日(金) (幼)年長卒園遠足



2月

- 1日(金) (堺高)耐寒登山
6日(水) (幼)講演会・お別れ会
8日(金) (芸)卒展[~10日]
12日(火) (短)冬学期授業終了
15日(金) 創立記念日
17日(日) (芸)デッサン教室
20日(水) (幼)子育てサロン
22日(金) (堺高)卒業式
23日(土) (商高&短高)卒業式／(幼)プレスクール募集説明会
26日(火) (幼)お別れ遠足
28日(木) (幼)相撲部屋見学[年長]



3月

- 4日(月) (短高)修学旅行[~8日]
5日(火) (幼)お別れハイキング
10日(日) (芸)オープンキャンパス
14日(木) (幼)卒園式
16日(土) (芸)学位記授与式
18日(月) (幼)修了式
19日(火) (短)学位記授与式／(堺高)修了式
22日(金) (商高)修了式
23日(土) (短高)終業式
24日(日) (芸)デッサン教室
25日(月) (商)学位記授与式



谷岡学園
GAKUJIN
人
47

●取材こぼれ話●

大商大的ブランディング戦略 >>>



今号では、特集2で大商大的就業力育成支援の取組みを紹介しました。その取組みにもつながる、大商大的ブランディング戦略について、教職員の皆さんにはご存知ですか？

Brand new you. 出会いが あなたを 楽しくする。

平成23年度から大商大に、「Brand new you. 出会いがあなたを楽しくする。」という、新しいメッセージが誕生しました。このメッセージを紹介するコンセプトブックには、このようなフレーズがあります。

— きっかけがあれば、今よりもっと楽しい人生になる —

学生たちが、隠れている自分の強みや可能性に気づいてほしい。そして、次の一步を力強く踏み出してほしいというメッセージが込められています。これはまさに、「気づき」の支援を行う、就業力育成支援の取組みとつながっているのではないかでしょうか。学生たちが成長するきっかけである“出会い”的一つが私たち教職員であり、チャレンジする場との“出会い”を用意できるのも私たち教職員の役割なのだと、取材を通してヒシヒシと感じました。

前号で取り上げた大阪女子短大の取組みも、今回の大商大的取組みも、たくさんの教職員の皆さんのが想いが溢れています。何かを新しく始めることや変えることは本当に大変で、課題や苦労もとても大きいはずです。どうか、この想いが学生に伝わりますように…。

(そういえば、ライオンは学生たちの隠された「強さ」をあらわしているんですよね？！)(8)

お知らせ

ブランディング戦略の一環として、平成24年3月より京セラドーム大阪及び阪神甲子園球場に、大阪商業大学の広告を掲載しています。ドーム・球場での試合やイベントへ行かれる際には、ぜひご覧ください。



京セラドーム大阪 大型外野看板(レフト側) 阪神甲子園球場(1塁側内野フェンス)

編集室コラム

近頃、マスクの着用がすっかり定着しましたね。

これまででは、主に花粉症対策の方が多かったようですが、新型インフルエンザの登場で、感染予防で着用される方が多くなったのが理由ではないでしょうか。

私はというと、子どもの頃も含め、これまで殆どマスクを着けたことがありませんでした。私が子どもの頃のマスクはガーゼのもので、息苦しくて、着けるのが嫌でした。

先日、夕方までおはしゃぎで遊んでいた子どもが、夜になって急に熱を出し、翌日かかりつけの病院で診察してもらったときのこと。付添いの方も含めて待合室にいる殆どの方がマスクをしているというのは、異様な雰囲気でした。大きさでなくたじろぎました。この中に入って行って大丈夫なのかと。相当危ない空間なのではないかと。少し前のインフルエンザ関連のニュースで、電車から降りてくる人の多くがマスクをしているのを見たときも、正直、かなり引いてしまいました。

相手が目に見えないだけに、マスクは有効な予防策だと思いますが、罹患している本人や家族がエチケットとして着用するのはまだしも、予防のためとのであれば、あまり大きさにならずに使って欲しいなど、思った次第です。(い)

■楽人について

「楽人」は、学園各設置校に所属する教職員の皆さん向けの広報誌です。学園の現在や将来の方向性、また、その時々の目標や課題についての情報を皆さんと共有できるコミュニケーションツールとして、皆さんにとって真に有意義な情報を発信できる冊子を目指します。

■本学園における個人情報の取扱いについて

学校法人谷岡学園(以下「本学園」という。)では、個人情報の重要性を認識し、これを保護するとともに、「個人情報の保護に関する法律」に沿って、適切に管理し、利用します。

また、本学園は、保有する個人情報に対して、必要かつ適切な安全管理措置を講じ、個人情報の漏洩、滅失、毀損等を防ぐよう努めます。

個人情報取扱業者の名称及び氏名：学校法人谷岡学園 理事長 谷岡一郎

個人情報の取扱いについての問い合わせ窓口

学校法人谷岡学園 法人本部 総務課 個人情報取扱係

電話：06-6781-0384